

2017年2月8日

各位

会社名 株式会社ディー・エヌ・エー
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 守安 功
 (コード番号: 2432 東証第一部)
 問合せ先 執行役員経営企画本部長 小林 賢治
 電話番号 03-6758-7200

2017年3月期第3四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び減損損失の計上のお知らせ

2016年11月4日に公表いたしました2017年3月期第3四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の同期間の実績とに以下のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

1. 2017年3月期第3四半期連結累計期間業績予想と実績との差異 (2016年4月1日~12月31日)
 国際会計基準(IFRS)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (2016年11月4日発表)	108,900	22,300	15,400	106.16
第3四半期連結累計期間実績 (B)	108,720	18,663	28,803	198.55
増減額 (B-A)	△180	△3,637	13,403	
増減率 (%)	△0.2%	△16.3%	87.0%	

2. 差異が生じる理由

売上収益は、概ね前回発表の予想どおりの水準となりました。営業利益は、主力のゲーム事業中心に堅調に推移したものの、新規事業・その他に属するキュレーションプラットフォーム事業では、すべてのサービスの記事を非公開化しており(注1)、当該事業の事業計画等が未定であることから、関連するのれん等の減損損失(3,859百万円)等を計上いたしました。親会社の所有者に帰属する四半期利益については、上記のとおり前回発表予想から差異が生じることとなりました。欧米のゲーム事業に関わる海外子会社を解散し清算することを決議しておりますが(注2)、その進捗に伴い、過年度の当社単体決算において計上した関係会社株式評価損に係る繰延税金資産を計上しており、法人税等調整額を通じ、親会社の所有者に帰属する四半期利益を押し上げたことによります。

なお、業績の詳細及び通期の業績予想につきましては、本日公表の「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」をあわせてご参照ください。

(注1) 2016年12月5日付適時開示「キュレーションプラットフォーム事業に関するお知らせ~第三者調査委員会の設置および当社キュレーションプラットフォームサービス全記事非公開化に関するお知らせ~」参照

(注2) 2016年10月18日付適時開示「海外子会社の解散及び清算に関するお知らせ」参照

以上

本件に関するお問い合わせ先
 株式会社ディー・エヌ・エー(<http://dena.com/jp/ir/>)
 IR部(ir@dena.com)